

本日ここに、結核予防会総裁秋篠宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、全国各地からお集まりの皆様とともに、第65回結核予防全国大会を島根県で開催できますことは誠に光栄なことであります。

皆様、ようこそ島根にお出でいただきました。心より歓迎申し上げます。

今大会の開催にあたりましては、結核予防会をはじめ、多くの関係の皆様方にご支援・ご協力を賜りました。

厚くお礼申し上げますとともに、本大会が大きな成果を収められますことをご祈念申し上げます。

さて、結核は、かつては不治の病と恐れられていましたが、医学の進歩などにより、現在では、適切な治療を受ければ、完治できる病気となりました。

しかし、今でも年間2万人を超える新たな患者が発生しており、依然として、結核は主要な感染症の一つであります。

また、高齢患者の増加、薬に耐性のある結核菌の出現などの問題もあり、地域の実情に応じ、きめ細やかな対策が必要となっております。

島根県は、高齢者の多い県でありまして、新たな患者のうち7割以上が高齢者の方々であります。

県では、高齢者関係の施設や医療機関の従事者を対象として、講習会を開催するなど、関係機関と連携して対策に取り組んでおります。

本大会を通じまして、結核の制圧を目指した活動が、さらに広く全国に広がっていくことを念願する次第であります。

さて、島根県は、縁結びの神様として有名な「出雲大社」や、昨年9月に世界認定された隠岐ジオパーク、世界遺産の「石見銀山」など、豊かな自然、古き良き文化や伝統が各地に残されております。

今回、あるいは次の機会に、こうしたところにも足をお運びいただければ幸いです。

終わりに、結核予防の更なる前進と、ご来場の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。